

一の保護」が7名、「情報の管理」が5名、「二度手間」が4名、「病院との連携強化」が3名、「営業時間の延長」が3名、「サービスの向上」が4名、「その他」が29名であった。

下記に主な意見を挙げる。

情報提供の向上

- ・ 薬に関する説明及び説明書を患者に渡す薬局とそうでない薬局があるがサービスの質の点で問題がある。指導料などの経費について領収書に細かく表示してもらいたい
- ・ 知識不足だ
- ・ 薬局の説明書は副作用が書いてない

待ち時間の短縮

- ・ 待ち時間を早くしてください、待ち時間長い

薬品の在庫確保

- ・ 薬局によって、同じ薬でも液体になってしまったら、多く飲まなくてはいけなくなったりするので、大体同じにしてほしい
- ・ 十分な種類の薬の在庫は資金圧迫になり気の毒
- ・ この薬は、うちでは取り扱いがない、など開き直りは困ります。同じタイプの薬でも患者には合う合わないなど自覚しているものもあるので
- ・ 薬の種類によっては取りよせなければならぬものもあると思うが、その日のうちに届けばいいと思う。でも重い症状のときは待ってられないと思う
- ・ 新しい薬を常に置いておくようにしてほしい
- ・ 院外処方薬が調剤薬局になく、似たものを出された。それ以来心配になった。在庫も少なく二度手間になった
- ・ 薬をそろえておいて欲しい。実際に自宅近くの薬局にいったら薬がないので処方できないと断られたことが何度もある。それ以来病院近くしか行かなくなった

薬剤師レベルの向上

- ・ もっと勉強して欲しい何をたずねてもわかるように
- ・ 地方に住んでいたとき、以前の薬剤師の方が、処方された薬を渡す際に、自分との話のなかで、合っていないのではないかと、医師に確認の電話を

してくれたことがあったが、積極的に向かい合ってくれて、すごく助かった。薬剤師さんもその様な気迫で言って欲しい

- ・ 規模が小さいと必ず薬が常備してあるか不安。薬剤師の信頼性が微妙なところ
- ・ 薬の知識をよく身につけて欲しい

安心感の向上

- ・ 調剤薬局の方は院内よりも親切ですが、逆に親切すぎて信用ができない、本当の薬剤師の方ではない人が窓口にいたりするのでは（薬局の様にという不安もある）
- ・ 接客態度よく的確な説明がほしいが、商売気が強くなるのは感心しない
- ・ 営利的
- ・ かかりつけになるまで人間関係に時間を要する
- ・ 薬の飲み合わせや副作用、病気との関係などを相談できることは心強い
- ・ 自宅の近所だと家族に頼める。在庫がないと配達してくれる
- ・ 私はあまり保険薬局は賛成ではありません。いくら個人情報を守ると言っても信用もできません。病院・診療所という医療機関でお薬をだしてもらえばいいと思っています。何故医薬分業が必要なのかもよくわかりません。単純に考えると薬剤師が儲かるためと思えるようなことが度々あります

コストの軽減と明確化

- ・ 全国どこに行っても同じ値段とか、院内処方と同じくらいとかしていただきたい
- ・ 請求明細を明確にしてほしい

プライバシーの保護

- ・ プライバシーの保持に十分な注意を払ってほしい
- ・ プライバシーを守る（大きな声で薬や病状を話したりしないようにしてほしい）
- ・ 経営者の審査を厳格にする必要あり
- ・ 症状など聞くのに待合所が近くてプライバシーの問題がある

情報の管理

- ・ かかりつけ薬局で総合的な管理ができるとよい
- ・ 個人に関係することを医師以上にしつこく聞かれるのがいやだ

二度手間

- ・ 院外処方薬が調剤薬局になく、似たものを出された。それ以来心配になった。在庫も少なく二度手間になった

病院との連携強化

- ・ 副作用、飲み合わせについて所見をもち、医師にフィードバックすることが難しそう
- ・ 副作用が出た場合のアドバイスをしてもらえると良い。また、出た場合医師との連携をとって欲しい

営業時間の延長

- ・ 待ち時間短くしてほしい。病院が休みの土日祝日夜間も営業してほしい。そうすれば一箇所限定して安心したサービスを受けられると思うので
- ・ 営業時間を長くしてほしい
- ・ 薬の説明や飲み合わせの良し悪しを教えてもらえるのは有難いが医師のような物言いになるのは避けてほしい。営業時間を長くしてほしい

サービスの向上

その他

- ・ 意見を言いにくい
- ・ 医者より親切で丁寧な薬局があるがかえって混乱する
- ・ 院外処方薬は嫌い。気が疲れる。うるさい。不安。狭いところで待つ。薬を受け取る時、他の患者に聞こえるように説明する。質問しても分からない。奥から大先生やらがきて、苦情処理のように説明する。若い薬剤師の適正、資格が不安
- ・ 近所に親切な薬局がある
- ・ 薬について説明がきけて、自宅付近なのがよい
- ・ 薬による副作用やアレルギーなどが出たときの相談内容を病院、薬局が把握しておいてもらえるとよい
- ・ 薬の説明や飲み合わせの良し悪しを教えてもらえるのは有難いが医師のような物言いになるのは避けてほしい。営業時間を長くしてほしい
- ・ 薬を渡す前のくどい前口上は一切やめよ
- ・ 病院と薬局で二重に料金がかかるので高い。なぜ分けると高いのか分からない。薬局によって料金が違うのが不思議です
- ・ 病院の先生の話と同じことを何度も聞かれるのは煩わしい

- ・ 門前薬局に必ず行くようにできている。選択できるようにしてほしい。同じ薬なのに値段が高くなるのが疑問。プライバシーも心配。薬局によっては指定病院のものしか受け付けないといわれる

(3) その他

のべ回答人数は118名であり、「待ち時間の短縮」が22名、「院外処方反対」が10名、「手帳、カード化」が10名、「院外処方賛成」が8名、「コストの軽減と明確化」が7名、「プライバシーの保護」が7名、「院内院外処方の選択権」が5名、「二度手間」が4名、「情報提供の推進」が4名、「営業時間の延長」が2名、「その他」が39名であった。

下記に主な意見を挙げる。

待ち時間の短縮

- ・ 病院の薬剤部では時間がかかりすぎるように思う
- ・ 薬剤部の待ち時間を短縮して欲しい
- ・ 待ち時間が長すぎる

院外処方賛成

- ・ 患者にとっては薬の分野は全く未知であることが多い。医薬に関する総合的なコンサルティングシステムが身近にあると便利で安心と思う
- ・ 院外処方によって薬の待ち時間が減るのであれば大歓迎である。ただ、患者に対して適切な薬を提供し安全を確立する事が大前提となる
- ・ お薬手帳のカード化は管理する側は便利かもしれないけれど、個人情報を集めれば漏れるのが世の常ですよね
- ・ 今まで病院になかった薬、特定の薬だけでなく色々な薬を処方してほしい
- ・ 保険薬局は病院が特定した所しか処方せんを出してはいけないと思っていた。どこでもOKとは知らなかった

院外処方反対

- ・ 薬剤が原因と疑われる肝不全、生体肝移植を経験しました。外科以外で受診し薬をもらう場合は、免疫抑制剤との代謝酵素との関係を、念のため、自分でもチェックせざるを得ません。他科の医師が、そこまで気を使ってくださっているか不明だからです。もちろん、正確なことは素人にはわかりませんが。薬剤部では医師の処方をそのような観点からチェックしてくださっているのでしょうか。こう考えると、「分業」するだけで、危険が

高まる、と感じます

- ・ 保険薬局には遠慮がある
- ・ 病院の中でできるだけ出してほしい。年をとってくると、他に行って又薬をもらったりすると体調が悪いときなど天候によっても随分負担がかかる
- ・ 近所だと顔見知りがいるのでイヤだ
- ・ 医師が処方して薬がなかったとき、「同じ効用です」と言われてだされてもちょっと不安ですね
- ・ 今まで通り院内処方のほうが良いと思う。値段の面、医師の薬の出し忘れ時の対応もしやすいと思う
- ・ 処方箋の有効期間をもう少し長くしてほしい。連休などのときは失効してしまう
- ・ 他の人もいる中で、必要以上に薬のことを聞かれるのはいやな時がある

お薬手帳、カード化

- ・ お薬手帳/カードにて薬の処方履歴だけでなく病歴も同時に管理し、該当する医院へ問い合わせ可能な総合医療システムの国主導の構築が望ましい。旅行が可能になるためと病院間の派閥の解消。各診療科間とチーム医療促進のため。住民基本台帳番号を基本情報とした医療イントラネットシステムを希望する
- ・ お薬手帳には薬の名前が書いてあるのでカードだとすぐ見てわからないので、カードは別に必要だと思いません
- ・ カードなどで、薬の管理が出来て、全国どこでも、いつでも利用できると安心です。現在、自分で管理し、新しく診察を受けるときに話しますが、これが一番苦勞です
- ・ 身体に関する大切な情報、流出する懸念が常にある。システムが進歩してもその「裏」ももっとレベルアップするのでどうも信用ならないという気がする
- ・ ひとつの疾患でいくつも病院を受診している人もいるから、カード化して同疾患では処方できないようにしてほしい
- ・ 病院によって医薬分業の実施が違っているため、お薬手帳など、中途半端である
- ・ 薬手帳は飲み合わせの薬害などの時は必要だとは思う、あちこちの(近所の医院と大病院)病院に通わざるを得ないので保険薬局を決められない。特に近所にないので

コストの軽減と明確化

- ・ 医療事務の資格を持っているが医療費がどんどん高くなることはきつい事と思われま
- ・ 院外処方利用は、場所を問わず“いきつけの薬局”で処方してもらえるのであれば、時間の節約など有効であると思われる。ただし、院外処方の場合、現状では院内処方と比べて割高になると、聞いている。医療者の個人負担が上昇している今日、院内処方と同価格であることが必要条件と思われる
- ・ 費用の明細が不明

プライバシーの保護

- ・ 個人情報流出の件もあり、できるなら院内処方が望ましいとおもわれる
- ・ 院外だとプライバシーが心配
- ・ 身体に関する大切な情報、流出する懸念が常にある。システムが進歩してもその「裏」ももっとレベルアップするのでどうも信用ならないという気がする

院内院外処方選択権

- ・ 薬局までの移動時間や薬局での待ち時間がもったいないと思います。病院内薬局か外の薬局か選択できるのがベストだと思います
- ・ 院内・院外選択ができないのか疑問
- ・ 年輩の方も多く病院で薬をもらいたいと強く希望する人も多いはず。私は待ち時間のことが最大の理由で院外処方システムに賛成だが、できればどちらか選択できるように（診療時に）してあげられれば良いと思う

二度手間

- ・ 院外処方が増えているが、一ヶ所ですむので院内処方のままがいい

その他

- ・ 薬についての専門知識の「確立と普及。投薬事故をなくすため専門家は日々研究、研修につとめてほしい
- ・ ジェネリック薬品というのを聞くが、実際どのようにすれば、その薬に換えて貰えるのかわからない
- ・ 処方箋の有効期間をもう少し長くしてほしい。連休などのときは失効してしまう
- ・ 老人に不要に薬を渡さないように。捨ててる人が大勢いると思う

V. 考 察

今回のアンケート調査に協力して回答した患者は 1,136 名であった。アンケート調査は必要に応じて説明しながら、一人一人の患者に手渡しで実施したため、拒否した患者は少数であった。回答した患者の男女比は約 50%と半々であった。年齢については、50～80 歳の年齢層が多かったが、低年齢から高年齢まで幅広く調査することができた。受診診療科についても、内科を中心に全診療科の受診患者から幅広く意見を聞くことができた。アンケートの記入式回答についても、予想をはるかに越える多くの患者から貴重な意見が寄せられた。

「医薬分業」の言葉については約 80%の患者が知っており、院外処方せんを利用したことがある患者も約 80%と大多数を占めた。慶應義塾大学病院は院外処方を希望すれば多くの患者が院外処方せんを利用していたにもかかわらず、今回のアンケート調査実施時に院内処方を利用していることから、何らかの理由で院内処方を選択していると考えられた。院外処方せんを提出した保険薬局は、病院・診療所付近が 56.8%と多く、自宅付近は 30%であった。1ヶ所に決めているのは 36%と少なく、特に決めていないが約 50%、数ヶ所でそのときによって変えるが 14%であり、「かかりつけ薬局」としてではなく「門前薬局」としての利用が多いことが示唆された。

病院・診療所で薬を受け取りたい患者は 58.6%と多く、保険薬局は 20.1%であった。

主な選択理由は処方薬の管理が 24.2%、手間が 16.3%、安心感が 15.6%、待ち時間が 14.7%、相談しやすいが 6.3%であった。病院・診療所の選択と保険薬局の選択で比べて見てみると次のようになる。

病院・診療所で薬を受け取りたい患者の主な選択理由は、処方薬の管理が 29.9%、安心感が 20.5%、手間が 19.1%、プライバシーが 7%、相談しやすいが 6.5%であった。処方薬の管理（薬歴管理）と安心感などを理由とする患者が多かったが、病院に対する信頼度を反映したものであるが、医薬分業の本来の意義が十分に理解されていないことも考えられた。

保険薬局で薬を受け取りたい患者の主な選択理由は、待ち時間が 51.2%、処方薬の管理が 12.8%、手間が 10.5%、安心感が 7%、相談しやすいが 7%、であった。待ち時間の理由で選択した患者は予想通り多かったが、プライバシーについては病院を選択した患者は 82 人で、保険薬局の 2 人と大きく異なり注目すべき結果となった。

保険薬局が自宅や職場近くにあると答えた患者は 82.1%と多いことから、「か

かりつけ薬局」を持つ地域の環境は調っていることが示唆された。利用したい保険薬局は病院の近くが46.3%、自宅・職場付近が42.9%であることがわかった。保険薬局を選ぶ基準は待ち時間が26.3%、病院から近いが17.3%、薬歴管理が16.8%、自宅・職場が近いが16.4%、営業時間が8.8%であった。医薬分業の目的を理解しており、薬歴管理にも重点を置いているものの、待ち時間などのサービス面を優先している傾向が見られた。

「かかりつけ薬局」については知らない患者が61.3%と半数以上であったが、必要であると思っている患者は66.7%と今回のアンケートで「かかりつけ薬局」の意義を理解することで、必要性を感じたと思われる。「かかりつけ薬局」を持っている患者は25.4%で、「かかりつけ薬局」で患者の相談に応じてくれるが63.3%であった。「かかりつけ薬局」を持つことが出来るは74.3%と今回のアンケートにより、多くの患者が「かかりつけ薬局」を理解し、必要性を感じ、積極的に「かかりつけ薬局」を持つべきとの考えに変わったと考えられる。「かかりつけ薬局」を持つことが出来ない理由は208名から回答があり、信頼できない、近くにない、処方薬の在庫がない、プライバシーの保護、二度手間であるなど現実的で具体的な意見や要望が多く出された。

「お薬手帳」については62.1%の患者が知っており、48.7%が持っているとの回答であった。「お薬手帳」を利用しているも41.4%と多いが、実際に「お薬手帳」を提示しない患者が49.4%と多かった。現在、「お薬手帳」をもっていない理由は利用することがないが46.4%、提示が面倒くさいが21.2%と必要性は理解しているものの、面倒くさいなどの理由から実際には利用していない患者が多かった。また、ほとんどの患者74.8%が外出時携帯していないことも分かった。将来構想としての提案、『将来、お薬手帳がカード形式となり、全国どこの保険薬局でも過去のお薬の内容や、飲み合わせなどについて調べることが可能になったとします。カードについての個人情報暗証番号などで守られ、銀行の通帳のように機械で処方内容が印刷できるとした場合、現在のような「お薬手帳」は必要だと思いますか』との問いには、情報機密管理の不安を感じながら、カードだけでよいが33.9%、両方必要が22.2%と多くの患者から賛同が得られた。

アンケート結果について、患者は医薬分業の必要性を認めているものの、お薬の待ち時間、支払い金額、関連サービス、便利な保険薬局など利便性に期待している意見が多く寄せられた。また、保険薬局の選択基準に自宅・職場が近い及び薬歴管理を挙げている患者もおり、医薬分業の本来の目的である複数の医療施設から発行される処方せんの薬歴管理を重視した選択もしていたが、全

体的に医薬分業について理解度がまだ十分でないと思われ、啓蒙活動の必要性を感じた。保険薬局でのプライバシーの問題については、病院の薬剤部と異なり、近所の保険薬局ゆえに顔見知りの薬剤師であったり、近所の知人と同席したくないなど、保険薬局の設備や環境によるもの、また、病院からの患者情報が少ないことから、より詳細な情報を得るため患者から直接情報収集せざるを得ない背景があるなどプライバシーが守られにくい状況が浮き彫りになった。医薬分業の条件として、保険薬局の質の向上を希望・期待している意見も多く見られた。また、病院の薬局と異なり販売業を並行して行っている保険薬局があり、営利的なイメージが強いことも薬剤師への信頼しにくい状況に繋がっていると考えられた。

これらのアンケート調査結果を参考に理想とする次世代の医薬分業システムのあり方について、さらに、調査、分析、検討を進めて行く予定である。今後、患者さんに医薬分業を正しく理解していただくための啓蒙活動の必要性や、いくつか示唆された問題点を解決するための方策について基礎資料を作成したい。

理想の医薬分業システムを実施するためには病院と保険薬局の連携、病院薬剤師と保険薬局薬剤師の連携が必要であり、情報交換をより密にすることが必要である。今回のアンケート調査は慶應義塾大学病院において一次調査として実施したが、二次調査として地区の薬剤師会の協力を得て、保険薬局の薬剤師及び患者を対象として、今回のアンケート結果を踏まえた内容でアンケート調査を実施する。

資料 1 病院薬局の患者アンケート調査用紙

医薬分業に関するアンケート調査のお願い

現在、慶應義塾大学病院薬剤部では患者さんにとってメリットの大きい医薬分業のあり方に関する研究を進めています。

このアンケートにより“院外処方”や“かかりつけ薬局”などについて、患者さんよりご意見を伺い、今後の医薬分業体制のあり方や患者サービスの向上を検討する上での参考資料とさせていただきます。お手数をおかけして大変恐縮ですが、アンケートへのご協力お願いいたします。

記入に際しましては、該当する番号を○で囲むか（ ）内にご記入ください。書き終わられましたら、クリップボードごと用紙を薬剤部窓口にあるアンケート回収箱にお入れください。ボールペンはどうぞお持ち帰り下さい。

慶應義塾大学病院薬剤部

患者さんについてお教えてください

1. 男性 2. 女性 ()歳代

何科を受診されていますか(複数回答可)

1. 内科 2. 外科 3. 整形外科 4. リハビリテーション科
5. 形成外科 6. 小児科 7. 産婦人科 8. 眼科 9. 皮膚科
10. 泌尿器科 11. 耳鼻咽喉科 12. 精神・神経科 13. 放射線科
14. 麻酔科 15. 歯科・口腔外科 16. 漢方クリニック
17. スポーツクリニック 18. 感染クリニック 19. その他()

問1)「医薬分業」という言葉をご存知ですか

1. はい 2. いいえ

問2)当院以外も含め、院外処方せんを利用したことがありますか

1. はい 2. いいえ

→「1. はい」を選んだ方は[問3]へ

→「2. いいえ」を選んだ方は[問5]へ

問3)処方せんをお出しになった保険薬局(調剤薬局)の所在地はどちらですか(複数回答可)

1. 病院・診療所付近 2. 自宅付近 3. 職場付近
4. 病院・診療所から帰る途中 5. その時によって違う

問4)処方せんをお出しになる保険薬局(調剤薬局)を決めていますか

1. 1ヶ所に決めている 2. 数ヶ所決めてその時によって変える
3. 特に決めていない

⇒次ページへ

問5)お薬をどこでもらいたいですか

1. 病院・診療所
 2. 保険薬局(調剤薬局)
 3. どちらでもよい
- 「1. 病院・診療所」または「2. 保険薬局(調剤薬局)」を選んだ方は
[問6]へ
- 「3. どちらでもよい」を選んだ方は[問7]へ

問6)選んだ理由は何ですか(複数回答可)

1. その医療機関の処方薬の管理(薬歴管理)をしてくれる
 2. 待ち時間がない
 3. 手間がかからない
 4. 金額の違い
 5. 親切・丁寧
 6. 安心感・信頼感がある
 7. 相談しやすい
 8. プライバシーが守られる
 9. 自宅に近い
 10. 職場に近い
 11. その他 ()
- [問8]へ

問7)「どちらでもよい」という理由をお書きください

理由 ()

問8)今後、保険薬局(調剤薬局)に期待することは何ですか。ご自由にお書き
ください

問9)自宅または職場付近に保険薬局(調剤薬局)はありますか

1. はい
2. いいえ
3. わからない

問10)院外処方の場合、どこの保険薬局(調剤薬局)を利用したいですか

1. 病院・診療所付近
2. 自宅付近
3. 職場付近
4. その他 ()

問11)保険薬局(調剤薬局)を選ぶ基準は何ですか(複数回答可)

1. 外観
2. 営業時間
3. 待ち時間
4. サービス
5. すべての医療機関の処方薬の管理(薬歴管理)をしてくれる
6. 病院・診療所が近い
7. 自宅・職場が近い
8. 医療用品・健康食品などの種類が多い
9. その他 ()

問12)1ヶ所の保険薬局(調剤薬局)で各患者さんの処方薬を管理(薬歴管理)し、
飲み合わせの問題やお薬に関する様々な相談に対応してくれる保険薬局
(調剤薬局)を「かかりつけ薬局」といいます。これまでに「かかりつけ薬
局」という言葉をご存知でしたか

1. はい
2. いいえ

⇒次ページへ

問 13) 「かかりつけ薬局」は必要だと思いますか

1. 必要 2. 不要 3. わからない

問 14) 「かかりつけ薬局」を持っていますか

1. はい 2. いいえ

→ 「1. はい」を選んだ方は[問 15]へ

→ 「2. いいえ」を選んだ方は[問 16]へ

問 15) 「かかりつけ薬局」ではお薬の飲み合わせや副作用などの相談に応じてくれますか

1. 必ず応じてくれる 2. まあまあ応じてくれる
3. あまり応じてくれない 4. まったく応じてくれない

問 16) これから「かかりつけ薬局」をもつことはできると思いますか

1. はい 2. いいえ

→ 「1. はい」を選んだ方は[問 18]へ

→ 「2. いいえ」を選んだ方は[問 17]へ

問 17) 「かかりつけ薬局」をもつことができない理由をお書きください

理由：

問 18) 保険薬局(調剤薬局)などで配布している「お薬手帳」をご存知ですか

1. はい 2. いいえ

→ 「1. はい」を選んだ方は[問 19]へ

→ 「2. いいえ」を選んだ方は[問 25]へ

問 19) お薬手帳をお持ちですか

1. 持っている 2. 以前は持っていたが今は持っていない
3. 持っていない

→ 「1. 持っている」を選んだ方は[問 20]へ

→ 「2. 以前は持っていたが今は持っていない」を選んだ方は[問 23]へ

→ 「3. 持っていない」を選んだ方は[問 24]へ

問 20) ご自身で「お薬手帳」を利用していますか。また、どのように利用していますか(例：お薬の名前のメモとして)

1. 利用している 2. 利用していない

利用法 ()

問 21) 保険薬局(調剤薬局)で調剤してもらうときに「お薬手帳」を提示しますか

1. 必ず提示する 2. 提示することがある 3. 提示しない

問 22) 外出や旅行の際、「お薬手帳」をお持ちになりますか

1. 必ず携帯する 2. 携帯することがある 3. 携帯しない

→ [問 24]へ

⇒次ページへ

問 23) 現在、お持ちでない理由は何ですか

1. 前の「お薬手帳」の記入欄がなくなった
2. 持っていても利用することがない
3. 薬局で記入してくれない
4. 薬局で提示するのが面倒くさい
5. その他 ()

問 24) 「お薬手帳」は必要だと思いますか

1. はい
2. いいえ
3. どちらでも良い
4. わからない

問 25) 将来、「お薬手帳」がカード形式となり、全国どこの保険薬局(調剤薬局)でも過去のお薬の内容や、飲み合わせなどについて調べることが可能になったとします。カードの個人情報(暗証番号など)で守られ、銀行の通帳のように、病院・薬局に置く機械で処方内容を確認・印刷できるとすれば、現在の「お薬手帳」の必要性をどのように考えますか

1. 「お薬手帳」だけでよい
2. カードだけでよい
3. 両方必要
4. 両方不要
5. どちらでも良い
6. わからない

問 26) 院外処方についてご意見がある方は、ご自由にお書きください。

(1) 処方せんを発行する病院・診療所(医院)へのご意見

(2) 保険薬局(調剤薬局)へのご意見

(3) その他

アンケートにご協力頂きありがとうございました。

資料 2 保険薬局の患者アンケート調査（案）用紙

医薬分業に関するアンケート調査のお願い

現在、慶應義塾大学病院薬剤部では患者さんにとってメリットの大きい医薬分業のあり方に関する研究を進めています。

このアンケートにより“院外処方”や“かかりつけ薬局”などについて、患者さんよりご意見を伺い、今後の医薬分業体制のあり方や患者サービスの向上を検討する上での参考資料とさせていただきます。お手数をおかけして大変恐縮ですが、アンケートへのご協力お願いいたします。

記入に際しましては、該当する番号を○で囲むか()内にご記入ください。
書き終えられましたら、アンケート回収箱にお入れください。

なお、このアンケートは封筒で管理し、慶應義塾大学病院薬剤部で開封・集計されますので、保険薬局(調剤薬局)の方に内容を知られることはありません。また、回答内容についての個人情報を守られますので、ご安心ください。

〇〇区薬剤師会
慶應義塾大学病院薬剤部

患者さんについてお教えてください

1. 男性 2. 女性 ()歳代

何科を受診されていますか(複数回答可)

1. 内科 2. 外科 3. 整形外科 4. リハビリテーション科
5. 形成外科 6. 小児科 7. 産婦人科 8. 眼科 9. 皮膚科
10. 泌尿器科 11. 耳鼻咽喉科 12. 精神・神経科 13. 放射線科
14. 麻酔科 15. 歯科・口腔外科 16. その他()

問1)「医薬分業」という言葉をご存知ですか

1. はい 2. いいえ

問2)院外処方せんによる調剤は患者さんのご希望ですか

1. はい 2. 医師と相談して 3. 医師に勧められて
4. 診察した病院・診療所では外来患者の調剤はしないので
5. その他()

問3)処方せんをお出しになった保険薬局(調剤薬局)の所在地はどちらですか(複数回答可)

2. 病院・診療所付近 2. 自宅付近 3. 職場付近
4. 病院・診療所から帰る途中 5. その時によって違う

問4)処方せんをお出しになる保険薬局(調剤薬局)を決めていますか

1. 1ヶ所に決めている
2. 数ヶ所決めてその時によって変える
3. 特に決めていない

問5)お薬をどこで調剤してもらいたいですか

1. 保険薬局(調剤薬局)
 2. 病院・診療所
 3. どちらでもよい
- 「1. 保険薬局(調剤薬局)」または「2. 病院・診療所」を選んだ方は
[問6]へ
- 「3. どちらでもよい」を選んだ方は[問7]へ

問6)選んだ理由は何ですか(複数回答可)

1. すべての医療機関の処方薬の管理(薬歴管理)をしてくれる
 2. 待ち時間がない
 3. 手間がかからない
 4. 金額の違い
 5. 親切・丁寧
 6. 安心感・信頼感がある
 7. 相談しやすい
 8. プライバシーが守られる
 9. 自宅に近い
 10. 職場に近い
 11. その他 ()
- [問8]へ

問7)「どちらでもよい」という理由をお書きください

理由 ()

問8)今後、保険薬局(調剤薬局)に期待することは何ですか。ご自由にお書きください

問9)自宅または職場付近に保険薬局(調剤薬局)はありますか

1. はい
2. いいえ
3. わからない

問10)院外処方の場合、どこの保険薬局(調剤薬局)を利用したいですか

1. 病院・診療所付近
2. 自宅付近
3. 職場付近
4. その他 ()

問11)保険薬局(調剤薬局)を選ぶ基準は何ですか(複数回答可)

1. 外観
2. 営業時間
3. 待ち時間
4. サービス
5. すべての医療機関の処方薬の管理(薬歴管理)をしてくれる
6. 病院・診療所が近い
7. 自宅・職場が近い
8. 医療用品・健康食品などの種類が多い
9. その他 ()

問12)1ヶ所の保険薬局(調剤薬局)で各患者さんの処方薬を管理(薬歴管理)し、飲み合わせの問題やお薬に関する様々な相談に対応してくれる保険薬局(調剤薬局)を「かかりつけ薬局」といいます。これまでに「かかりつけ薬局」という言葉をご存知でしたか

1. はい
2. いいえ

- 問 13) 「かかりつけ薬局」は必要だと思いますか
1. 必要 2. 不要 3. わからない
- 問 14) 「かかりつけ薬局」を持っていますか
1. はい 2. いいえ
→「1. はい」を選んだ方は[問 15]へ
→「2. いいえ」を選んだ方は[問 16]へ
- 問 15) 「かかりつけ薬局」ではお薬の飲み合わせや副作用などの相談に応じてくれますか
1. 必ず応じてくれる 2. まあまあ応じてくれる
3. あまり応じてくれない 4. まったく応じてくれない
→[問 17]へ
- 問 16) これから「かかりつけ薬局」をもつことはできると思いますか
1. はい 2. いいえ
→「1. はい」を選んだ方は[問 18]へ
→「2. いいえ」を選んだ方は[問 17]へ
- 問 17) 「かかりつけ薬局」をもつことができない理由をお書きください
理由：
- 問 18) 保険薬局(調剤薬局)などで配布している「お薬手帳」をご存知ですか
1. はい 2. いいえ
→「1. はい」を選んだ方は[問 19]へ
→「2. いいえ」を選んだ方は[問 24]へ
- 問 19) 「お薬手帳」をお持ちですか
1. 持っている 2. 以前は持っていたが今は持っていない
3. 持っていない
→「1. 持っている」を選んだ方は[問 20]へ
→「2. 以前は持っていたが今は持っていない」を選んだ方は[問 23]へ
→「3. 持っていない」を選んだ方は[問 24]へ
- 問 20) ご自身で「お薬手帳」を利用していますか。また、どのように利用していますか(例：お薬の名前のメモとして)
1. 利用している 2. 利用していない
 利用法 ()
- 問 21) 保険薬局(調剤薬局)で調剤してもらうときに「お薬手帳」を提示しますか
1. 必ず提示する 2. 提示することがある 3. 提示しない
- 問 22) 外出や旅行の際、「お薬手帳」をお持ちになりますか
1. 必ず携帯する 2. 携帯することがある 3. 携帯しない
→[問 24]へ

問 23)現在、お持ちでない理由は何ですか

1. 前の「お薬手帳」の記入欄がなくなった
2. 持っていても利用することがない
3. 薬局で記入してくれない
4. 薬局で提示するのが面倒くさい
5. その他 ()

問 24)「お薬手帳」は必要だと思いますか

1. はい
2. いいえ
3. どちらでも良い
4. わからない

問 25)将来、「お薬手帳」がカード形式となり、全国どこの保険薬局(調剤薬局)でも過去のお薬の内容や、飲み合わせなどについて調べることが可能になったとします。カードの個人情報(暗証番号など)で守られ、銀行の通帳のように、病院・薬局に置く機械で処方内容を確認・印刷できるとすれば、現在の「お薬手帳」の必要性をどのように考えますか

1. 「お薬手帳」だけでよい
2. カードだけでよい
3. 両方必要
4. 両方不要
5. どちらでも良い
6. わからない

問 26) 院外処方についてのご意見がある方は、ご自由にお書きください。

(1) 保険薬局(調剤薬局)について

(2) 処方せんを発行する病院・診療所(医院)について

(3)その他

アンケートにご協力頂きありがとうございました。

資料 3 保険薬局の薬剤師アンケート調査（案）用紙